

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

1. 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
1-1	山崎委員	総務課 (庶務)	PDCAサイクル	<p>昨今、働き方改革にて職場改善の見直しを各企業でも進められている中、行政も例外ではないはず。そんな中PDCAサイクル業務を遂行していくにはいささか柔軟性にかけるのではないのでしょうか？現代のビジネスワークの変化に伴いC「チェック」からA「アクト」の反応が若干遅い気もいたします。</p> <p>またPDCAサイクルだとフィードバックをもとに計画、実行の中で少しずつ改善していくため柔軟性も損なわれ新たな事業やアイデアが生まれにくいのも懸念いたします。</p> <p>もちろんPDCAサイクルを全否定しているわけではありません、しっかりとしたフレームワークとして有効ではあります。</p> <p>より柔軟かつ迅速に変化に対応できるように「OODA」ループを推奨いたします。</p> <p>O「OBSERVE(観察)」 O「ORIENT(方向付け)」 D「DECIDE(決定)」 A「ACT(行動)」のループにより、迅速な意思決定と柔軟な対応力の向上に繋がると想われます。</p> <p>部署や行う業務で「PDCA」「OODA」の使い分けをしていかなければならない時代なのかもしれません。</p>	<p>大阪市では市政改革室より各所属において取り組む施策・事業はPDCAの4つのサイクルを繰り返し改善を継続していくとの方針が出され、運営方針は年度を通じてPDCAサイクルを徹底するための全所属共通のマネジメントツールとなっています。</p> <p>OODAループには迅速な意思決定と柔軟な対応力の向上に繋がるというメリットがあり、意義があると考えますが、運営方針は向こう3年から5年でめざす成果と戦略を策定することになっており、結果に伴う改善が欠かせないため、現時点ではPDCAサイクルが適切であると考えております。</p> <p>委員ご指摘の点につきましては、庁内で共有させていただきます。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

1. 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
1-2	北方委員	総務課 (庶務) 地域協働課 (防災防犯)	経営課題2 地域で支え合う 安全なまち「大 正」	<p>すでに閉校となった大正高校跡地、近い将来閉校となると言われている泉尾工業高校、これらの管轄が当区でないにしろ、これらの大きな土地は当区に存在している。今後どのように利用されるのか、区はみているだけなのでしょうか。</p> <p>何らかの形で区として利用することはできないのか。また、区が今後の利用に関して意見または希望を言うことや、この跡地を借り受け、何らかのアクションを試みることに、関心を持ち未来に繋ぐプロジェクトをつくることはできないのか。</p> <p>また現在、泉尾工業高校は近隣在住の者にとって高所建物としての避難所として意識している人も多く、今後どこへ避難可能か不安に思っている声もよく聞く。そういう不安への対応も区は配慮していく必要があるのではないかと。</p>	<p>もと大正高等学校の跡地については、現在、大阪府立中之島図書館の所管のもと「書庫」として利用されており、当区では、大阪府との協議により、旧校舎の3階以上を「津波避難ビル」として継続使用させていただいているところです。</p> <p>泉尾工業高等学校につきましても、委員ご指摘のとおり津波避難ビル・災害時避難所として指定しているため、大阪府の高校再編整備による跡地利活用の方針によりますが、防災拠点として継続使用できるよう協力を求めています。</p> <p>また、これらの敷地につきましては、大阪府所管の土地であるため、大阪府の担当部局との連携を密にして今後の活用方針の情報を得よう努めるとともに、委員ご指摘のとおり、区役所として意見や要望を述べたり、利活用の可否等について確認してまいります。</p>
1-3	北方委員	総務課 (庶務)	経営課題2 地域で支え合う 安全なまち「大 正」	<p>地域的なことですが、泉尾公園において雑草やごみの除去をしてくれている年配の人が数人おられる。彼らはボランティアなのか、それとも八幡屋公園事務所のほうから雇われているのか。</p> <p>以前、私はバス通りの草木への関わりに対し、高齢者のエネルギーの利用を提示しましたが、その際、管轄の違いと高齢者が関わることへの安全面から取り上げられなかったと思います。</p> <p>泉尾公園は全てではありませんが彼らのおかげで綺麗に維持されている面が見え、私個人としていつも感謝しています。</p> <p>ボランティアの人たちであれば区として勝手にしている分には良いってことなのでしょうか。彼らのような人たちを支援することはないのでしょうか。</p>	<p>泉尾公園の清掃等を行っていただいている皆様は公園愛護会という公園の近隣住民で組織されたボランティア団体の方々と、公園の保全・美化に多大なるご尽力をいただいております。</p> <p>公園愛護会には活動にかかる経費を交付対象とし、公園の面積に応じた交付金を支給しております。</p> <p>なお、大阪市においては永年にわたり、道路や公園の保全・美化運動に功労のあったものに対して表彰を行っており、令和5年度には泉尾公園愛護会の団体の長と個人の計3名に感謝状の贈呈(区長表彰)をさせていただきました。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

1. 「令和5年度大正区運営方針」の振り返りについて					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
1-4	中島委員	地域協働課 (地域協働)	経営課題5 4つ の柱を支える共 通の取組(地域 活動の活性化)	<p>大正区民まつり、スポーツ大会等、区民が望んでいるイベントなのか？</p> <p>地域行事に参加した者の満足度は90%を超えるが、参加率は10%にも満たないのではないかと(データはありませんか？)</p> <p>何を目的に誰のために行っているのかを区民に伝える手段を怠っている気がします。</p> <p>まず参加促進し、20～30%の参加率を上げたうえで満足度を計測することで、始めて事業を精査できると思いますがいかがでしょうか？</p>	<p>コミュニティ育成事業では、活力ある地域社会をつくるため、人と人とのつながりを促進し、これまで地域活動に関わりが薄かった人々をはじめ、あらゆる世代の住民が地域活動に参加するきっかけを提供し、多様な協働の主体が強固につながるよう支援を行っています。</p> <p>取組の内容としては、49回目を迎えた大正区民まつりといった定番のイベントから、スポーツ大会(スポーツのつどい)といった新しい試みまで幅広く行っています。参加者を大正区民に限定していないため、参加率の測定は行っていませんが、委員ご指摘のとおり、事業趣旨を踏まえた広報に力を入れる必要があると考えています。</p> <p>今後は、魅力あるコンテンツの企画やSNS、地元ローカルメディアの協力を得ながら、事業の趣旨も含めた広報を行い、幅広い世代に対して参加意欲を高めてまいります。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

2. 町会加入促進について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
2-1	山崎委員	地域協働課 (地域協働)	メリット・デメリット	<p>町会に入るにあたり、メリット・デメリットがあるかと思 います。しかし、これまで「入る」ことの方に注力してき ているのではないかと考えられます。「入らない」メリッ ト・デメリットを考え、特に入らないデメリットを周知拡 散していけば「じゃあ入った方がいいよね」の思考にな るのではないのでしょうか？</p> <p>それと、まず地域住人が自分がどこの地域の何町会 に住んでいるのかを把握していただくことが最優先に なってくると思います。</p> <p>また、子育て世代や若い世代の加入が著しく低い現 状を打破すべく、世代別のコミュニティ確保も必須。 そもそも若い世代に対しての町会の周知が行き届い ていない。学校や保育園、幼稚園の協力で手紙や啓 発物品等での町会を子育て世代へアピールしていく事 が大事なのではないのでしょうか？</p> <p>若い世代や子育て世代、お年寄り世代、全般に言える ことですが、明るく楽しいが大前提ではあります。</p> <p>「入らない」メリット・デメリットはいくつかあります。 メリットは町会費を払わなくていい、会合や集まりに参 加しなくていいので時間がつくれる、など。</p> <p>デメリット 地域の情報不足 重要な情報やイベントなどの情報が入りにくい。</p> <p>防犯や防災への影響 防犯や防災活動へ参加できなくなり安全性に影響を 及ぼす可能性も。</p> <p>孤独感・孤立感 加入しないことで隣人や町会に対して、困った時に助 けを得にくくなる。</p> <p>地域貢献の欠如 清掃活動や子どもの見守り活動、貢献活動に参加で きないため社会関与が薄れる。</p> <p>などがあります。まだまだあるかと思いますがこれらは 全大正区民へ周知なくしては成り立ちません。</p>	<p>大阪市では、もっとも身近な地域コミュニティである町会への 加入世帯数の減少や加入率低下に歯止めがかかっていると は言い難い状況が続いており、地域コミュニティの維持・活性 化を目的に町会の支援を図るべく、令和5年度に「大阪市町会 加入促進戦略」が策定され、令和6年度以降、同戦略に基づ き、各区の地域特性を考慮した「町会加入促進アクションプラ ン」を策定することとなっています。</p> <p>大正区版のアクションプランを策定するにあたり、町会組織 や活動内容の認知度を向上させる取組は必須であると考えて います。</p> <p>委員からのご意見にありますように、自分の居住地がどの町 会のエリアにあたるのか、また、町会加入に関してメリット・デ メリットを測るにも、自分の居住地にあたる町会がどのような 組織で、その組織がどのような活動をしているのかを知ってい ただく必要があると考えています。このような内容も含めて区 政会議当日に委員の皆様と意見交換ができればと思います のでよろしくお願いします。</p>

区政会議委員からの事前質問・意見に対する回答

2. 町会加入促進について					
番号	委員	担当課	該当ページ 項目名	区政会議委員意見	回答
2-2	中島委員	地域協働課 (地域協働)	【参考2】6. 本戦略の位置付けと内容、7. 実施体制及び進め方	<p>「個人の尊重」、「多種多様性」をTV、マスコミ、学校教育でも最も重要視しなければならないと刷り込まれています。</p> <p>「町会入会は自由、私のメリットを感じない」と入会を断られることがほとんどです。</p> <p>「多種多様」な資質や経験を集合させて天災を含む個人では抗えない困難を乗り越えてきたのが私たち日本人であり、人間です。</p> <p>TV、マスコミ+学校教育の現場で「多様性」が重要なのではなく「多様性」をいかに社会に提供できるかを知らせてほしいと考えます。</p> <p>【参考2】 6. 本戦略の位置付けと内容 →やっと動いてくれていますね。 7. 実施体制及び進め方 →各町会(現場)の意見や現状の聞き取りは終わっていますか？</p>	<p>連合会長会・区役所連絡会において「大阪市町会加入促進戦略」をお示しするとともに、各町会(現場)でご意見等をお聞きしています。</p> <p>いただいたご意見などを踏まえ、上記戦略に則し、さらに大正区の地域特性を反映させた「大正区版町会加入促進アクションプラン」を策定してまいります。</p> <p>策定したアクションプランに基づき、町会組織や活動内容の認知度を向上させるため、大正区の特性に応じた周知方法で町会加入促進を図ってまいります。</p>